

都市周辺の特にマンションやアパートでは、隣にだれが住んでいるのかさえわからないのが現状です。一方、北淡町ではどこのだれが一人暮らしの高齢者で、どの部屋に寝起きしているのかも近所の人が知っていたといわれています。その結果、短時間で地域住民の安否確認が可能になり、消防団と連携し、多くの被災者救助に成功しました。

このようなことから地域内でのつながりが密接なほど、災害の被害を小さくすることが可能であり、言い換えれば、災害時にご近所の底力が試されているといえます。日ごろから一人一人のプライバシーに配慮しながら、ご近所とのコミュニケーションを図ることが防災の大きな力になるのではないのでしょうか。



## 自主防災組織をつくらう

現在、町内には8つの自主防災組織ができています。鬼北町は、もともと、ご近所同士のつながりの強い地域です。これをより密にし、自分たちの命を守るため、自主防災組織をつくりましょう。



## 「あなたです 火のあるくらしの見はり役」

春季全国火災予防運動」3月1日(水)～3月7日(火)

3月1日から3月7日までの7日間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。この運動は、火災予防の一層の普及をはかり、火災の発生を防止し、火災による死者を軽減させ、財産の損失を防ぐことを目的として実施されます。また、火気を使用することが多くなる時季でもあり、その使い方を一歩間違えると大変なことになりかねません。この機会に今一度「火の怖さ」を認識し、火気の取り扱いには十分注意しましょう。

### 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

#### 3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対やめる
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

#### 4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ②寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる